

kikusui

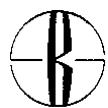
TECHNICAL DATA

仕上げの種類	可とう形合成樹脂エマルション系改修用 仕上塗材(可とう形改修塗材E)仕上げ
製品名	ソフトリカバリー

上塗材： 水系アクリル樹脂塗料

「ビュートップアクリル」

第8版 作成日： 2019年12月23日



菊水化学工業株式会社

公共建築改修工事施工仕様書

1. 仕上げの種類

可とう形合成樹脂エマルション系改修用仕上塗材(可とう形改修塗材E)仕上げ

2. 製品名

ソフトリカバリー

上塗材：水系アクリル樹脂塗料「ビュートップアクリル」

3. 適用範囲

既存の仕上塗材塗り仕上げ等を改修する場合及びコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に仕上塗材塗りを行う場合に適用し、その他の下地に適用する場合は特記による。

4. 材料

主材： ソフトリカバリー	NET 16kg/缶入
上塗材： ビュートップアクリル	NET 16kg/缶入

5. 下地

5.1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.3 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整に準ずる。

5.2 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整

既存のコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁等に外壁用塗膜防水材塗りを行う場合の下地調整は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.6.4 既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル仕上げ外壁等の下地調整に準ずる。

6. 工程

工程		材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (h) (23°C 50%RH)	所要量 (kg/m ²)
主材塗り	平たん状の場合	ソフトリカバリー 主材: 16 kg 清水: 0.9~1.2 L	ウールローラー	1	5以上	0.3以上
	さざ波の場合	ソフトリカバリー 主材: 16 kg 清水: 0.3~1.2 L	多孔質ローラー	1	5以上	0.8以上
	ゆず肌状の場合	ソフトリカバリー 主材: 16 kg 清水: 0.6~0.9 L	リシンガン 口径: 4~6mm 吹圧: 0.5~0.6MPa	1	5以上	0.8以上
上塗り		ビュートップアクリル 主材: 16 kg 清水: 0.8~1.6 L	エアレススプレー ウールローラー等	2	工程内 3以上	0.25以上

7. 工法

7.1 材料の練混ぜ

- (1) 主材は、定められた模様に対する所定の粘度に調整するよう、指定量の清水を加え、ハンドミキサーなどで均一にする。
- (2) 上塗材は、指定量の清水を加え、ハンドミキサーで均一に薄める。

7.2 主材塗り

- (1) 吹き付けの場合は、見本と同様の模様で均一に仕上がるよう、指定の吹付け条件により吹き付ける。
- (2) ローラーの場合は、見本と同様の模様で均一に仕上がるよう、所定のローラーにより塗り付ける。

7.3 上塗り

- (1) 上塗りは、2回塗りとし、色むら、だれ、光沢むら等が生じないように均一に塗り付ける。

8. 材料の取り扱い

- (1) 施工者は、材料の受入れ検査を行う。
- (2) 材料の保管にあたっては、直射日光を避け低温時において凍結しないように注意する。
- (3) 材料は使用に先立ち、材料の分離などについて検査を行い、異常が認められた場合は使用してはならない。
- (4) 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はS D S（安全データシート）を参照のこと。

9. 施工時の養生

- (1) 外装仕上げ面においては、塗り付け作業前に直射日光、風及び雨を防ぐためシート掛け養生を行う。特にパラペットと足場の間には雨が吹き込まないように覆いをかける。
- (2) 夏季に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するため、シート類、ポリエチレンフィルムなどで覆う。
- (3) 工事中は、周辺のほかの部材及び仕上げ面を汚損しないよう適切な養生を行う。

10. 施工時の気象条件

- (1) 施工場所の気温が5°C以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがあるので、施工を避ける。
- (2) 外部の施工で降雨、降雪の場合又はそのおそれのある場合及び強風時は施工を避ける。

11. その他の注意事項

- (1) 一般事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」平成31年版第4章 外壁改修工事の4.1.3 施工一般及び4.6.2 仕上塗材仕上げに準ずる。
- (2) 施工具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壤にしみ込まないように注意する。
- (3) 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがある。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行うこと。

※本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにしてください。

成 分 表

主材： ソフトリカバリー

内容	重量 (%)
アクリル樹脂エマルション	30.4
白色及び体质顔料	58.1
水	7.4
添加剤	4.1
計	100

上塗材： ビュートップアクリル

内容	重量 (%)
アクリル樹脂エマルション	47.6
白色顔料	18.1
水	21.7
添加剤	12.6
着色顔料	適宜
計	100

性 能 試 験 成 績 書

仕上げの種類	可とう形合成樹脂エマルション系改修用仕上塗材 (可とう形改修塗材E)仕上げ	
製品名	ソフトリカバリー	
供試材料	主 材：ソフトリカバリー 上塗材：ビュートップアクリル	
試験方法	JIS A 6909-2014 可とう形改修塗材Eに準拠	
試験項目	規定	結果
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がない。	適合
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	ひび割れがない。	適合
付着強さ N/mm ²	標準状態 0.7 以上	1.0
	浸水後 0.5 以上	0.7
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。	適合
透水性 B 法 ml	0.5 以下	0.2
耐衝撃性	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。	適合
ひび割れ充てん性	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がない。	適合
耐候性 A 法	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度がグレースケール 3 号以上とする。	適合
耐候性 B 法 (耐候形 3 種)	照射時間 600 時間で、塗膜にひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、光沢保持率は 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級が 1 以下とする。	適合
可とう性	ひび割れがない。	適合
—以下余白—		

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。